

7月25日の大雨被害額、県660億円、鶴岡市8億8千万円（農作物除く）

7月25日の大雨による被害額は8月16日現在、鶴岡市では8億8150万円（農作物を除く）にのぼりました。

山形県の被害額は、道路や河川など公共土木施設で581億円、

農林水産分野で80億円、被害額の7日時点での推計は、およそ660億円に上り、過去最悪になったことが明らかになりました。

鶴岡市は、被害の迅速な復旧及び被災者への

の支援を行うため、9日付けで一般会計補正予算の専決処分を行いました。

専決処分補正額は3億7283万1千円です。

災害一時扶助事業26万円は、住家が床上浸水の被害を受けた世帯に、災害見舞金1世帯当たり2万円を給付。

罹災証明書により判断し、鶴岡3戸、藤島8戸、羽黒2戸の計13世帯です。

総額 881,500千円 ※農作物除く

被害概要（令和6年8月16日現在）

住宅の床上・床下浸水の被害のほか、道路、河川、農地や農業施設等に大きな被害が発生

【建物被害】	住家：109棟（床上浸水14棟 床下浸水95棟）	非住家：119棟
【道路・河川施設】	89件 155,000千円	（道路（市管理）82件 河川（市管理）7件）
【公園】	4件	3,750千円
【農作物】	1,985.8ha（被害額については調査中）	
	水稻：428.8ha	大豆：975.1ha 枝豆：516.0ha そば：52.7ha その他：13.2ha
【農地】	91箇所	49,400千円
【農業用施設】	188件	377,650千円
【林道関連】	97件	265,700千円
【観光施設】	1件	30,000千円



落雷で破損した藤島体育館トレーニングルームのトレッドミル（ラニンングマシン）2台の更新196万円。藤島農村環境改善センターの法面一部が崩落し、復旧修繕84万7千円（写真）。

農地農業用施設災害復旧事業1億1050万円、林業施設災害復旧事業9775万円、都市公園施設災害復旧事業245万円、市単独災害復旧事業850

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

永慶寺境内散歩④

最上川殉難碑

1792年（寛政4）建立とある。

当時、奥羽大飢饉が続き、農民は困窮の時代であった。

寛政3年12月18日、松山藩主に年貢上納米を運送途中、最上川越出渡場（庄内町小出新田）で、八色木人足14人が川波に舟が転覆し、全員が殉死した。

翌4年、願主2人が発起して寄付金を募り、「最上川殉難碑」を建立し、あわせて丁寧な施餓鬼供養をおこなっている。

碑は、もりの山近くの南側に自然石で造られ、表面に殉難者の戒名が刻まれているが、風化して判読しがたい。ちょうど最上川河口

に向かって鎮座する様は、あたかも彼等が当時の状況をじっと見つめ、何かを語りかけているようである。

八栄島の史跡を語る会は、1991年（平

成3）3月21日の彼岸当日、「最上川殉難200回忌供養」をおこなった。塔婆と標柱を建立した。

永慶寺と古郡田澤家前田利家公の実兄利久の嫡男、前田慶次（別名：前田慶次郎）は、上杉景勝公に仕えて3万石を録した。

上杉家の米沢転封と同時に、その子孫は旧朝日村の田沢に逃れ、性を前田から田澤に改め、庄内に入り、加賀大乗寺の末寺である永慶寺の檀越（檀家）となった。古郡田澤家の祖先である。田澤家の位併壇は、開山堂正面にある。

田澤稲舟（明治7年（29年）は明治の女流作家で、前田慶次の後裔であり、永慶寺に位併壇がある。鶴岡市内の般若寺に田澤家の墓所があるが、八色木までは遠いので、市内に墓所を作ったと思う。



永慶寺の「もりの山」近くにある「最上川殉難碑」

0万円、湯殿山スキー場ゲレンデ復旧工事3000万円、他に「農業制度資金利子補給事業」で、県と協調し利子補給します。

アジア学院留学生の庄内研修

期間を半分に再開2年目

アジア学院（栃木県那須塩原市槻沢）留学生の庄内研修が、鶴岡市有機農業推進協議会（小野寺喜作会長）主催で今年も行われます。

コロナ禍で2020年から3年間休止していましたが、昨年からは期間を半分にして再開しました。

今回で26回目を数えます。

以前は、添川の農村環境改善センターで宿泊していましたが、ポイラーやエアコンが故

温海地域内の市道でトンネル入口に17日、落石がありました。

市道（温海美合坂線）に、最大で直径約50cm程度の落石を市が確認。現在全面通行止めとなつています。

なおこの落石による人的被害、家屋などへの被害は確認されていません。（写真は鶴岡市HPから）



障して使えず、宝徳の佐藤直樹さん宅（SEADS 1期生）に宿泊します。

今年は留学生20人で、

置賜と庄内で半分に分かれ研修します。

ここ庄内には、インドネシア、インド、パキスタン、マラウイ、リベリア、ミャンマー、ガーナ、コンゴ共和国などの出身者10人です。

第26回アジア学院留学生庄内研修

主催:鶴岡市有機農業推進協議会

日時	研修地
8月26日（月）	歓迎会（宝徳公民館）
8月27日（火）	藤島庁舎産業課エコタウン室 庄内協同ファーム
8月28日（水）	J A庄内たがわ 小野寺喜作さん（福田）
8月29日（木）	荘内教会保育園 鶴岡市立農業経営者育成学校 SEADS 研修まとめと国際交流の集い（宝徳公民館）
8月30日（金）	出発、仁賀保へ

東田川史跡物語

稲作改良碑①

青山 崇

史跡内にもう一つの石碑「稲作改良碑」

がある。旧郡会議事堂玄関に向かって左手にあ



稲作改良碑

り、「駐蹕之碑」と互いに向かい対象的である。まずその規模を見てみよう。

その前に次の方々に一言謝意を申し上げておきたい。

藤島庁舎の日向理恵さん。互いに自治体勤務なら意思疎通も計りやすいのではと思いい、生地での島野嘉作の資料をお願いした。

『大野城市のいしずえ』『大野城市史』の島野嘉作に関わる部分のコピーがすぐ届いた。石碑の規模の計測を



核兵器禁止条約に

広島に原子爆弾が落とされて79年目という6日、原水爆禁止世界大会と広島市が主催の平和記念式典が開かれた。一瞬にして人間を溶かす程の強烈な広島型の爆弾が、その何倍ナンテ計れない程の威力を持つて今世界中に散らばっている可能性がある。それは、

▲スウェーデンのストックホルム国際平和研究所によると、今年の1月の時点で、米国やロシアなど核保有9カ国が持っているのは、1万2121発の核弾頭だと。一番多いのはロシアで次が米国、この2国で9割を超えていると。人を殺すこんな物に去年だけで14兆円を超す金を使っているんだって。

▲何時でも使えるんだから、と脅してきたのが、核抑止力という言葉

していた文化記念館・郷研サークル会長渡部隆志さん、石質を観ていただいた石材店主北山文雄さん、島野嘉作資料をいただいた早坂清輔さんらである。

改良碑全景写真は渡部さん提供である。

改良碑の構成部分で計測したのは次のものである。

稲作改良碑・その台座石、これを支え、周囲より1段高くし、全体に一定を生みだす基壇である。（つづく）

葉。しかしロシアは、ウクライナに対して使う可能性をちらつかせている。今それを思いとどまらせているのが、世界の世論でしょう。かつて米国は、ベトナム戦争で使おうとしたが、世界の世論がそれをさせなかったと言われているんだ。

▲原水爆禁止世界大会は勿論、核兵器禁止条約の推進に力を尽くすことを確認。人類の生存と核兵器は共存できないんだから、平和記念式典に集まった人達も核兵器禁止条約の推進を望んでいるでしょう。広島市長は式典で、世界で唯一の被爆国である日本が、この条約に加わることを奨めた。

▲これに対し岸田首相は、世界の代表が集まったこの会場で、核兵器禁止条約という言葉を一回も使わなかったという。恥ずかしくないでしようか・日本の首相として。（石川）